

国内唯一のうな井専門チェーンがライセンス販売を開始 居酒屋や焼鳥屋などに、空き時間を利用したサイドビジネスとして提案

名代宇奈とと

(G-FACTORY: 東京都新宿区)

片平 雅之 社長(44)



Profile かたひら・まさゆき
1975年生まれ。1993年、神戸製鋼所入社。店舗支援コンサル業などを経て、平成15年に「名代宇奈とと」の事業を引き継ぐためにG-FACTORYを設立し、代表取締役就任。現在、つなぐ株式会社や株式会社M.I.Tなどの役員も務める。

マザーズ上場のG-FACTORY（東京都新宿区）が、「ワンコインうな井」で知られる「名代宇奈とと」のライセンス販売に乗り出した。「うな井」を主力商品にした国内唯一のチェーンが、牛丼、カツ丼、海鮮丼、天丼など、数々の丼チェーンが鎬（しのぎ）を削る外食業界でどこまで勢力を拡大できるのか注目が集まる。今後の事業戦略について、片平雅之社長を直撃した。

「宇奈とと」の魅力は、炭火で焼いたウナギを乗せたうな井が、リーズナブルな価格で食べられることにあります。昨今はウナギの値段が高騰し続けているのですが、その中でもこのようにして低価格を実現しているのでしょうか。

では解凍してから軽く蒸して焼くだけ、だから小さな店舗であれば1〜2人で回すことができます。結果、うな井1杯あたりの原価は、なんと40%前後に抑えることができます。現在、国内では直営店15店舗を出店されています。

多店舗化とオペレーションの効率化で低価格を実現

牛丼チェーンやコンビニなどでモリズナブルな価格で手軽に食べることができるようになった「うな井」ですが、「名代宇奈とと」は他に先駆けてこれを低価格で提供し始めた専門店です。

「名代宇奈とと」はもともと別の方が作った業態で、17年前に片平社長が引き継いで今の形にまで進化させたといえます。

「名代宇奈とと」はもともと別の方が作った業態で、17年前に片平社長が引き継いで今の形にまで進化させたといえます。

「名代宇奈とと」はもともと別の方が作った業態で、17年前に片平社長が引き継いで今の形にまで進化させたといえます。

「名代宇奈とと」はもともと別の方が作った業態で、17年前に片平社長が引き継いで今の形にまで進化させたといえます。

「名代宇奈とと」はもともと別の方が作った業態で、17年前に片平社長が引き継いで今の形にまで進化させたといえます。

「名代宇奈とと」はもともと別の方が作った業態で、17年前に片平社長が引き継いで今の形にまで進化させたといえます。

外国人にも人気のうな井 今後は海外展開にも積極的に挑戦

「名代宇奈とと」はもともと別の方が作った業態で、17年前に片平社長が引き継いで今の形にまで進化させたといえます。

「名代宇奈とと」はもともと別の方が作った業態で、17年前に片平社長が引き継いで今の形にまで進化させたといえます。

「名代宇奈とと」はもともと別の方が作った業態で、17年前に片平社長が引き継いで今の形にまで進化させたといえます。



▲オペレーションの効率化により少数人数での運営を可能にしている

「名代宇奈とと」はもともと別の方が作った業態で、17年前に片平社長が引き継いで今の形にまで進化させたといえます。

「名代宇奈とと」はもともと別の方が作った業態で、17年前に片平社長が引き継いで今の形にまで進化させたといえます。

「名代宇奈とと」はもともと別の方が作った業態で、17年前に片平社長が引き継いで今の形にまで進化させたといえます。